

平成15年
9月25日
発行
第182号

発行所
日本赤十字新労働組合連合会
(日赤新労)
東京都港区浜松町2-6-8伸和ビル1F
TEL(03)3433-3028
FAX(03)3432-4560
Eメール sinrou@nyc.odn.ne.jp
ホームページ http://www.shinro.org/
発行責任者 小宅 政 恵

日赤新労

綱 領
1. われわれは、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて皆々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
2. われわれは、常に暴力と独裁を排し自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
3. われわれは、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

平成15年度

第二回中央委員会開催

ベア、年末手当等を審議

九月十四日、十五日の両日、ケヤキ並木の美しい都仙台市の「三井アーバンホテル」において、全国加盟組より中央委員及びオブザーバー等八四名の参加のもと、第二回中央委員会が開催された。会議では議題である今年度ベア、年末手当、給与要綱第三五の改正等について慎重な審議が行われた。

第二回中央委員会は、開会後、本社は人権擁護の考えから、昨年引き継ぎ係給表の引下げ並びに年間給与調整の実施等を提示してき

審議事項

○労働歌CDの作成、寄贈
○幹部研修会開催
○生活習慣病の予防・改善における運動と栄養の役割
○京都大学大学院人間環境学研究所応用生理学教室教授・森合徹夫氏【調査部】

○夏期手当調査の実施及び集計
○平成十五年調査事項について調査を実施
二、一般経過報告
今年度ベアの交渉経過

○夏期手当調査の実施及び集計
○平成十五年調査事項について調査を実施
二、一般経過報告
今年度ベアの交渉経過

○夏期手当調査の実施及び集計
○平成十五年調査事項について調査を実施
二、一般経過報告
今年度ベアの交渉経過

○夏期手当調査の実施及び集計
○平成十五年調査事項について調査を実施
二、一般経過報告
今年度ベアの交渉経過

○夏期手当調査の実施及び集計
○平成十五年調査事項について調査を実施
二、一般経過報告
今年度ベアの交渉経過

○夏期手当調査の実施及び集計
○平成十五年調査事項について調査を実施
二、一般経過報告
今年度ベアの交渉経過

【日赤新労は、本年度の基本賃金引上げ額を定昇込み三・〇％として、本社と交渉を重ねてきた。これに対し本社は、三月十一日、四月十六日の団体交渉では世間の春闘相場が例年よりも厳しいことを主張して、従前からの日赤職員の生活を守るとした基本的な考えさえも示さなかった。さらに、五月二十二日には人事院勧告に準拠した賃金改定をしようとして、まさに白紙一任での妥結を求めてきたが、我々はこうした事態の中、臨時中央委員会等で慎重に審議し、引き続き十分な交渉に努めてきたところである。

八月八日の人事院勧告の



日赤新労第2回中央委員会開催の様子

単組新任役員研修会

「組合活動と労働法」

明治大学法学部講師 松岡二郎氏



単組新任役員研修会の様子

【参加者の感想】
今、労働者はベアにしてもらえない、賃金も上がらない、労働環境の悪化、労働者の権利が侵害されている。今回の研修会を通じて、労働法の重要性と労働組合の役割を再認識することができた。特に、労働法の改正や労働条件の改善について、具体的な事例が紹介されたことが印象的だった。また、労働組合の活動の重要性についても、改めて学ばせてもらった。今後の活動に活かしていきたい。

（教宣部長・永岡弘道）

最終的には本社回答を受け入れることで、全会一致で決定された。

【統一要求額】
三三・五割十一律五万円
【統一要求日】
本部一任、本部は十月十日（金）を指定。

七月十日に本社から提案のあった給与要綱第三五の改正の取扱いについて、本部より説明があった。

各ブロック会議での意見としては、ボーナス交渉と交渉の経過説明があり、その後各ブロック会議での審議結果が報告され、各ブロックとも基本的には本部一任の考えが示された。

通勤手当の運用、年末手当の給与調整、特殊勤務手当、医師確保調整手当について質疑が行われた後、

【統一要求額】
三三・五割十一律五万円
【統一要求日】
本部一任、本部は十月十日（金）を指定。

（教宣部長・永岡弘道）

年末手当要求額
32.5割十律5万円

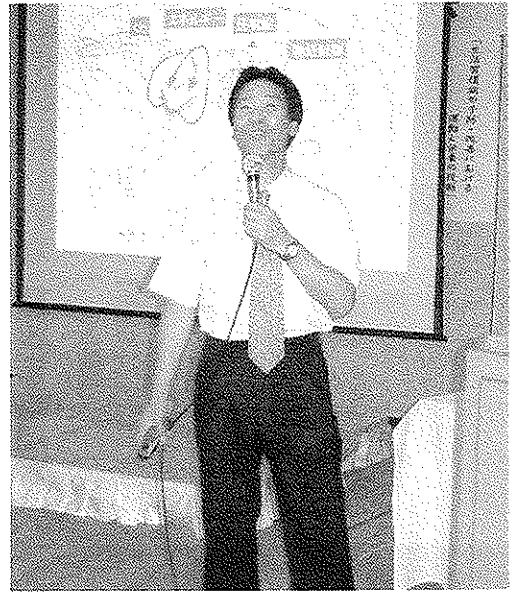


私たちの日々の努力に
応えよ!

日赤新労

「生活習慣病の予防・改善における運動と栄養の役割」

京都大学大学院人間・環境学研究科応用生理学教室教授 森谷 敏夫氏



今年の講演会は、過酷な労働条件のなかで働く組合員の方々に、からだと心の健康づくりのお役に立てればと考え企画した。

生活習慣病という言葉が浸透する中で、健康志向がより一層高まる今日、簡便に短時間で健康を獲得したいと望むそんな人たちへ贈る、ユーモアを取り入れたとても興味深い講演内容だったので、少し紹介したいと思う。

今日本は、大変なダイエットブームと書かれている。小学生を含む若い女性は健康以外の目的で、年配の女性は生活習慣病対策として、痩せることに夢中になっているようだ。小学生といえば、これから生きるための体をつくる年齢である。それなのに食事を食べなかったり、偏ったものしか食べなかったりしては、満足な体ができないのは当たり前だ。また、年配になれば、極端な肥満を別にするば、寝たきりの原因ともなりかねない骨粗しょう症を心配しなければならぬ。勿論、いつまでも美しくありたいという願いや生活習慣病の予防をしたいということは当然だが、間違ったダイエット方法は体そのものが不健康になってしまうことに繋がる。そこで、森谷先生は運動の重要性について、次のように話しておられた。

- ①大きな筋肉を使った運動は安全で消費エネルギーも大きい。
- ②1回の運動で、糖尿病・高血圧・高脂血症・虚血性心疾患・脳卒中・癌等の予防効果が認められるが、48時間以上は継続しないので、1日おき、もしくは週3回の運動が理想的である。
- ③1回30分～45分、週3回～5回程度の運動を継続することが不可欠だが、1回10分×3セットでも同様の効果がある。

【座右の銘】
肥満の予防・改善には「継続的な理性」を働かせる必要があります。からだで食べずに頭で食べましょう。
く太りにくい体質を作るための10ヶ条
太りにくい体質を作るためには、基礎代謝を高めるために、筋肉と自律神経を鍛える必

- 要があります。
- 1に運動、2に運動、3、4に運動、5に運動。こまめに体を動かすこと
 - 階段は筋力アップのパートナー
 - 自分で律する薄着の体慣れれば冬も暖かい
 - 整えよう、早寝、早起き、生活リズム
 - ストレスは過食の原因、癌のもと。運動で心も体もリフレッシュ
 - 歩幅大きくグイグイ歩こう
 - 長電話、合間に出来るスクワット
 - 快便、快眠、良く笑え
 - お腹のたるみは心のたるみ
 - ゲキ痩せで、なくなる筋肉、基礎代謝

2時間という限られた時間の中、生活改善のアドバイスを楽しく拝聴し、吉本顔負けの笑いの中で終始講演会は進められた。我々がこうして組合活動を行っていくうえで一番基礎となるものは、やはり健康といえる。今回の講演を機に、生活習慣病の予防・改善に努めながら、今後も皆さんと一緒に日赤新労を盛り上げて行きましょう。(教宣部)

北から南から ピンポイントで 納涼会!

新潟県赤十字血液センター職員組合

当センター職員組合では、いよいよ納涼会を企画し八月二十二日(金)、万代橋のたもと「ホテルオークラ」にて「屋上貸切パーティプラン」を利用し、納涼会を行いました。さて、今年の夏はいった晴とまではいきませんでしたが、



組合結成40周年 記念式典・祝賀会開催

石巻赤十字病院新労働組合

去る七月十二日(土)、石巻ランドホテルにおいて石巻赤十字病院新労働組合結成40周年記念式典並びに祝賀会が盛大に開催されました。



式典には、来賓として、本部より濱崎中央執行委員長、当病院より山田事務副部長のほかに、本部並びに全国の組合員の皆様、今後ともよろしくお願ひ致します。

内海書記長の経過報告の後式典に入り、早乙女執行委員長が挨拶を述べ、続いて濱崎中央執行委員長、病院長代表、組合OB代表等から祝辞を賜った後、鏡割りがとり行われました。祝宴ではOBの先輩方と楽しく40年の組合の思い出を語り合い、ステージでは地元歌手の七瀬愛さんの歌謡ショーが始まるなど、会場は大いに盛り上がりました。

あっという間に時間は過ぎ、最後は万歳三唱の後、前中央書記長の後藤氏による閉会の言葉で無事閉幕となりました。

不透明な厳しい時代ですが、石巻日赤新労もこの式典を機に新たな前進を誓い合いましたので、本部並びに全国の組合員の皆様、今後ともよろしくお願ひ致します。

★ Welcome ★
日赤新労ホームページへようこそ!
<http://www.shinro.org/>



組合活動に 関心を持つよう!

浜松赤十字病院職員組合

当単組では、今年度より専門部に研修部を設け、組合員に少しでも組合活動に関心を持ってもらおうということで、七月五日、第一回の組合研修会を開催しました。

当初、研修会が土曜日の午後からという事、仕事を終えて後の研修会という事で、参加人数に不安がありました。しかし、話した結果を聞き、実際には予想を上回る四五名の出席がありました。今回は最初の研修会であ

ないかと思えます。また、研修会終了後には組合員同士の親睦を深めるために懇親会を行い、雑談やゲーム等をしてコミュニケーションの強化を図りました。

組合離れの進む中、当単組は今後ももっと多くの組合員に研修会への参加を促し、組合活動に関心をもってもらえるよう努力していきたいと思えます。

(研修部長・石川拓克)

